

Lesson 4

Lesson 4では、敷地入力や外構図作成について説明しております。

敷地入力は、求積図などの情報によっていくつか入力方法が分かれています。

まずはこういった情報があるのか確認したうえで、情報にあった入力を行っていきましょう。

また、外構・エクステリアは建物のパースイメージをさらに良くする効果があります。

入力・作成も簡単なので、様々な外構図を作成することができます。

まずは簡単な敷地入力から始めていきましょう。



▶ 動画マニュアル



Lesson 4 目次

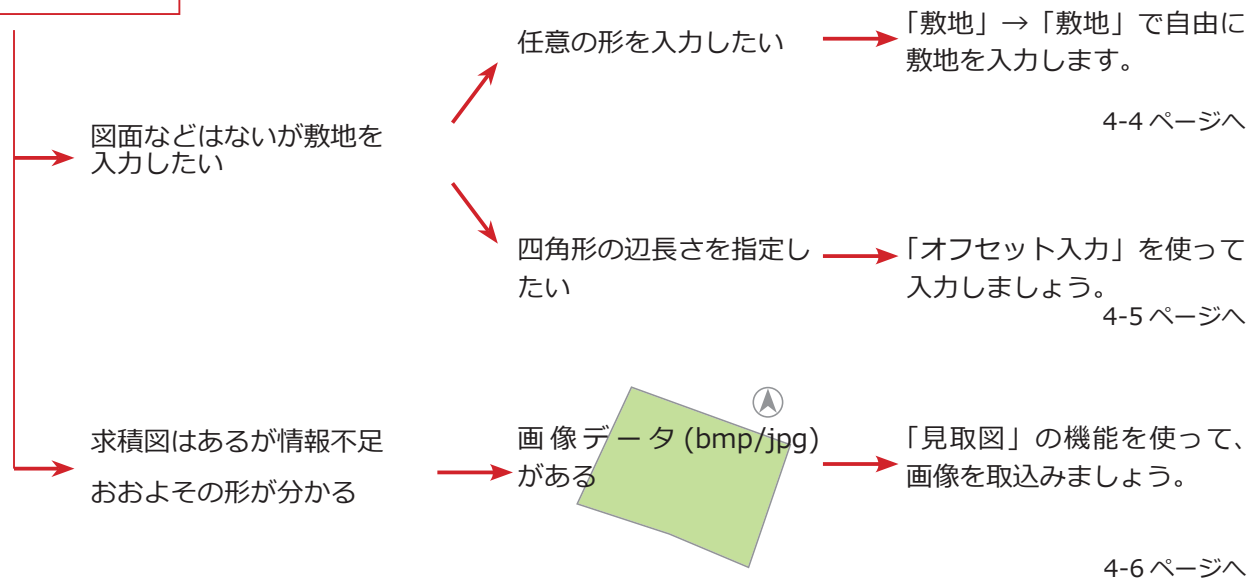
敷地の入力	4-3
求積図がない場合の敷地入力	4-4
画像がある場合の敷地入力	4-6
見取図の調整	4-7
見取図の非表示	4-8
見取図の削除	4-8
座標がある場合の敷地入力	4-9
三斜求積図がある場合の入力	4-11
対角と外周の長さがある場合	4-13
敷地の配置変更	4-15
敷地の調整	4-15
方位の入力	4-16
外構図の入力	4-17
道路の入力	4-17
傾斜の設定	4-21
塀の入力	4-22
植栽の入力	4-24

敷地の入力

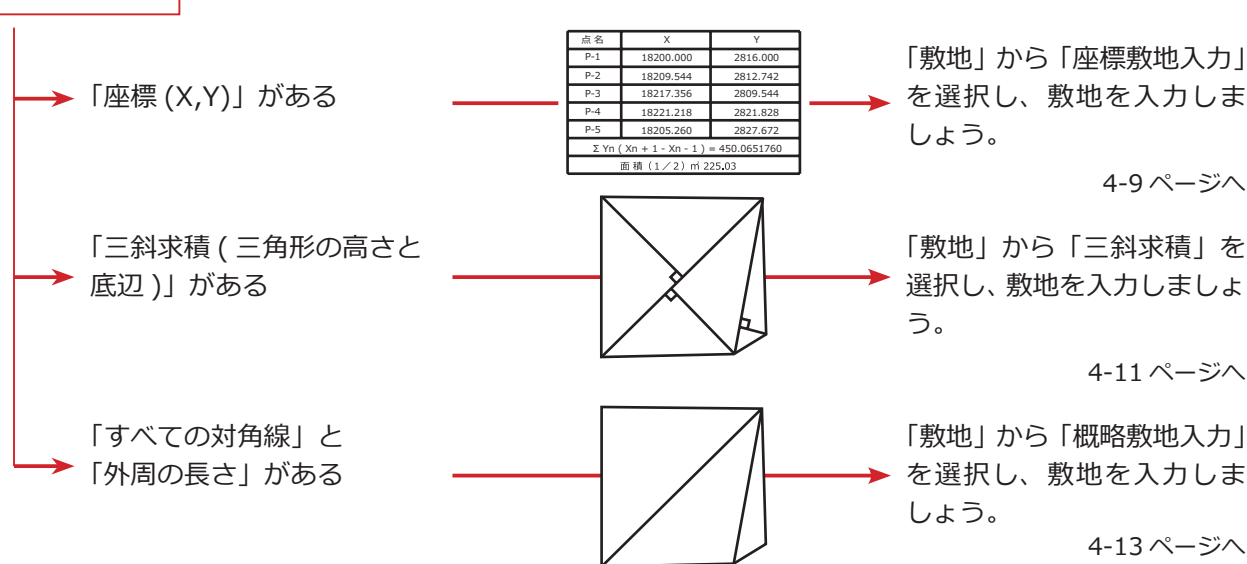
Walk in home で敷地を入力する場合、使用する敷地図で入力方法が異なります。

まずは、どの入力方法が適切か確認しましょう。

①求積図がない



②求積図がある



③敷地の JW や DXF のデータがある



求積図がない場合の敷地入力

今回は、代表的な3つの方法で入力します。

簡易入力

単純な敷地やデータがない場合などに入力する入力方法です。

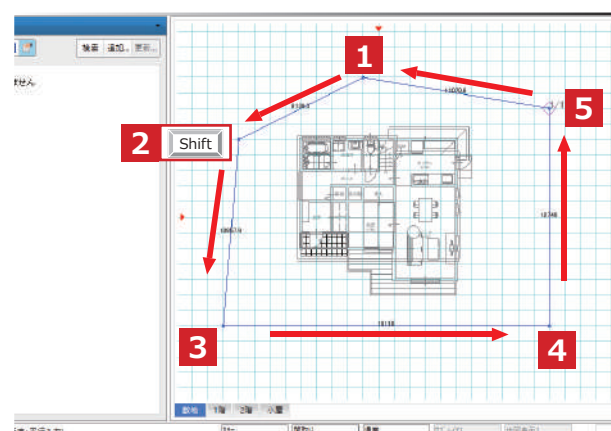
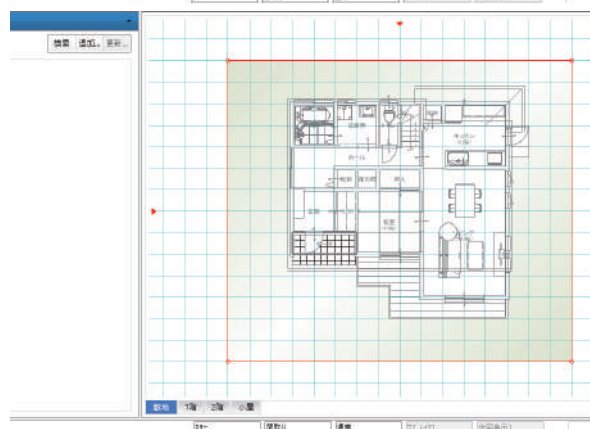
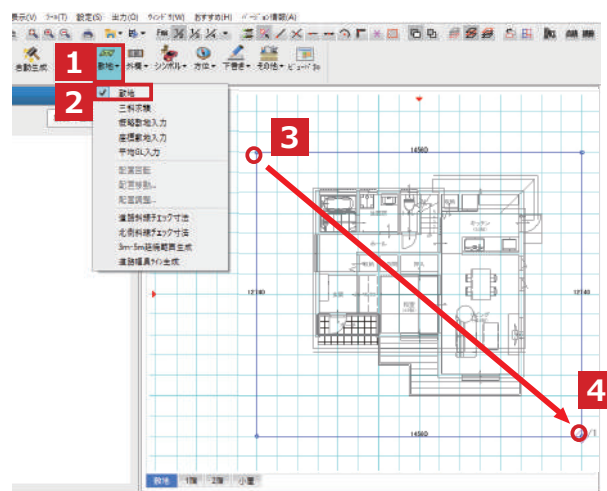
1「敷地」から2敷地を選択し、任意の範囲に入力(3,4)します。

敷地が入力されました。

「パース」画面でも、緑色の敷地が表示されているのが確認できます。

+ 補足

多角形の敷地の場合、1点目をクリックし、2点目のときに[Shift]を押しながら入力してください。



オフセット入力

縦横の寸法を決めて四角形で敷地を入力することもできます。グリッドに合わない数値でもあらかじめ指定して入力できます。

1「敷地」から2「敷地」をクリックします。

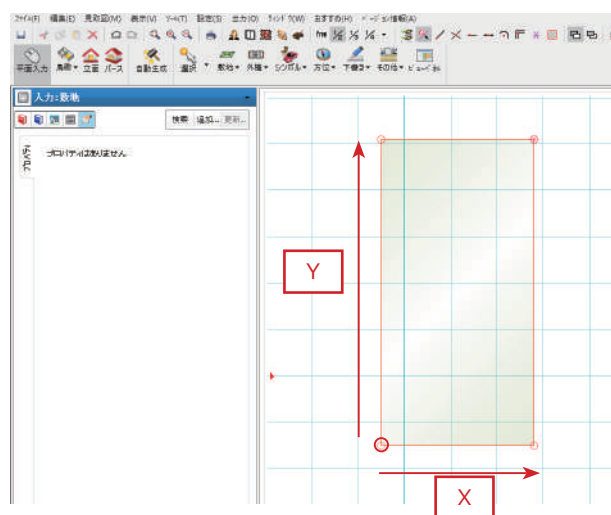
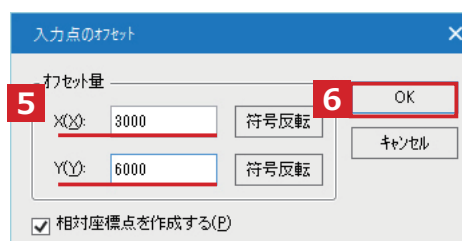
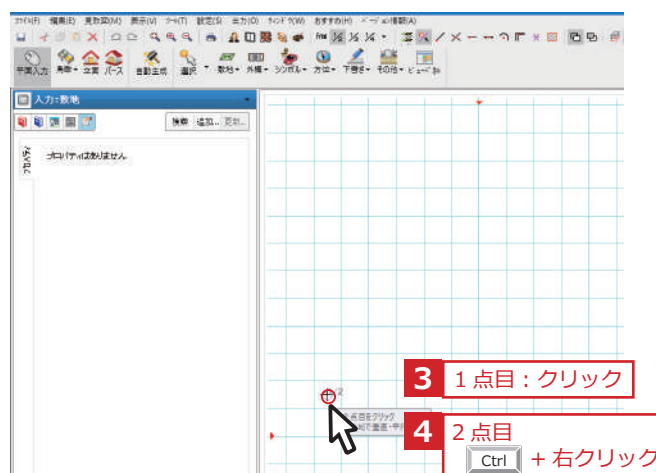
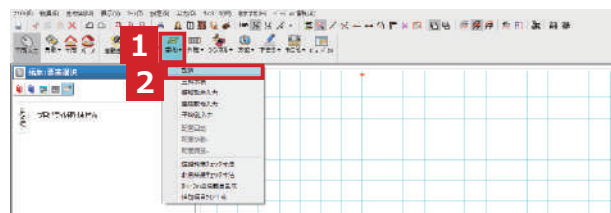
3 任意の場所でクリックし、1点目と同じ位置で4「ctrl」を押しながら右クリックします。

5 オフセット量「X」「Y」にそれぞれ数値を入力します。

6「OK」をクリックします。

+ 補足

この入力方法は「敷地」だけでなく部屋入力など、領域入力する要素で利用できます。



画像がある場合の敷地入力

見取図の取込み

詳細な寸法が分からない場合でも字図などの画像データを元におおよその形状を作成することができます。

1「見取図」から2「取込み」を選択します。

「見取図の取込み」画面で、3「ファイル」をクリックします。

「ファイルを開く」画面で、4データを選択し、5「開く」をクリックします。

注意

以下の拡張子のみ対応しています。

- ・BMP/JPEG/TIFF

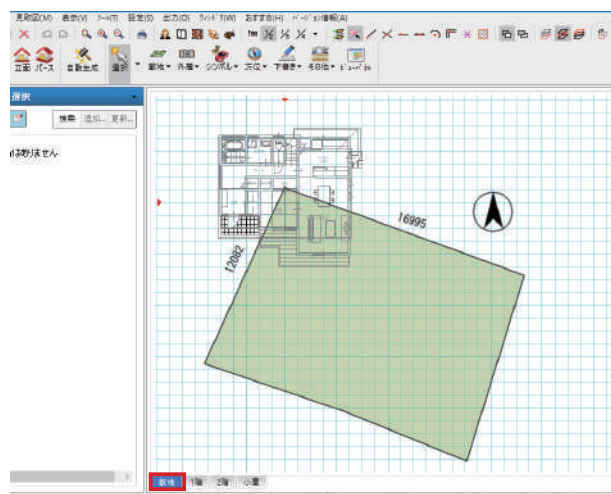
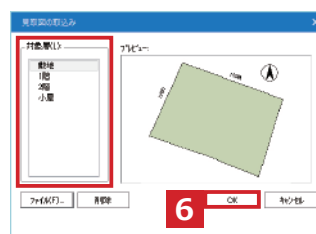
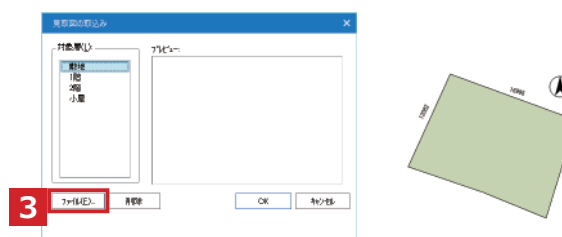
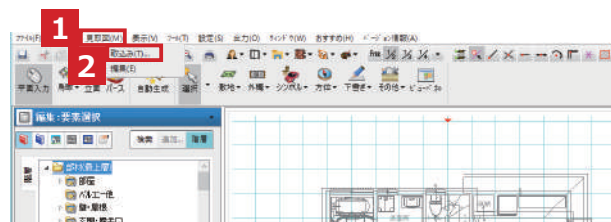
PDF はそのまま取り込みができません。

「見取図の取込み」画面に敷地画像が表示されたら、6「OK」をクリックします。

補足

「対象層」で見取図を取込む階層を指示します。敷地の場合は、「敷地」が青くなっていることを確認してください。

グリッド上に敷地画像が表示されました。



見取図の調整

取込んだ画像データのサイズを調整します。

1「見取図」から2「編集」をクリックし、「プロパティ」の3「サイズ設定」を選択します。

寸法が分かる線を2点指示します。(4, 5)

「サイズ設定」画面で、6「2点間の距離(L)」に実際の数値を入力し、7「OK」をクリックします。

次に、画像データを大体の位置に移動します。

「プロパティ」の8「移動」を選択します。

9移動元の基準点をクリックし、10移動先の基準点をクリックします。

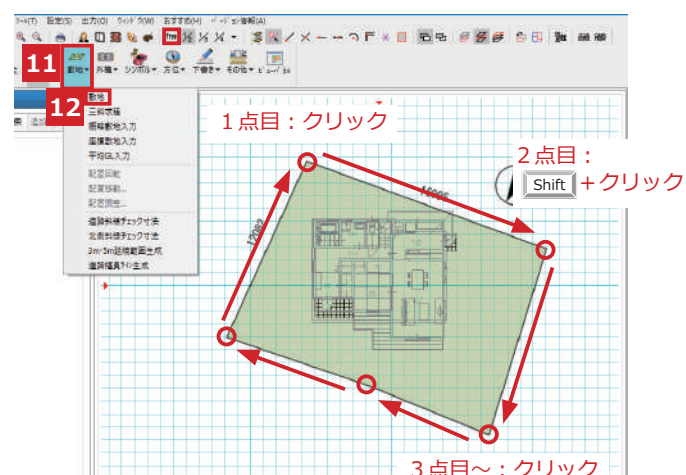
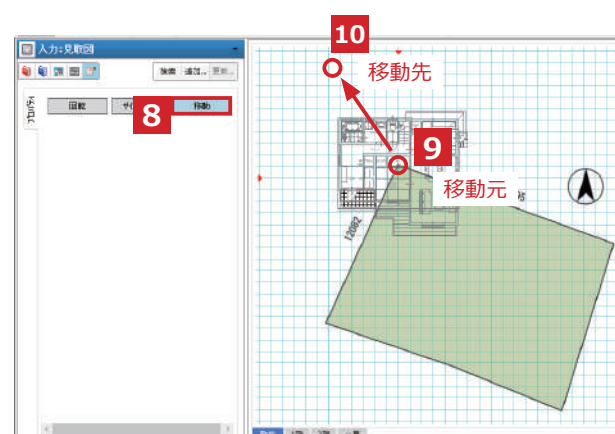
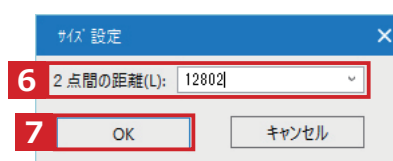
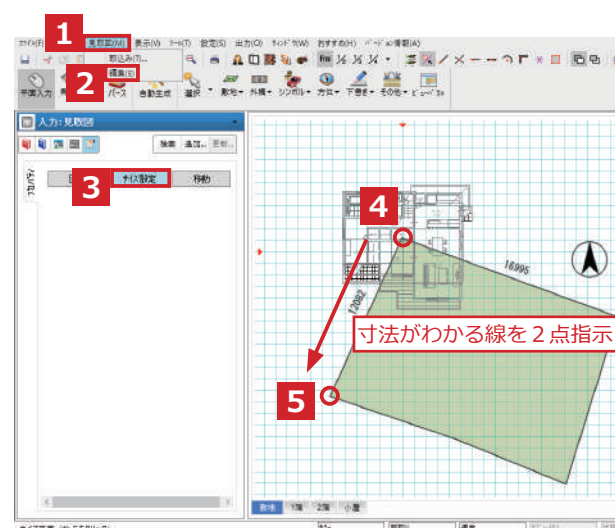
11「敷地」から12「敷地」を選択し、見取図をなぞります。

1点目をクリックし、2点目は「Shift」を押しながらクリックします。

3点目以降はクリックのみで入力します。

+ 補足

「Free Free」を押し込んで敷地を入力します。入力が完了したら「Free Free」は解除してください。

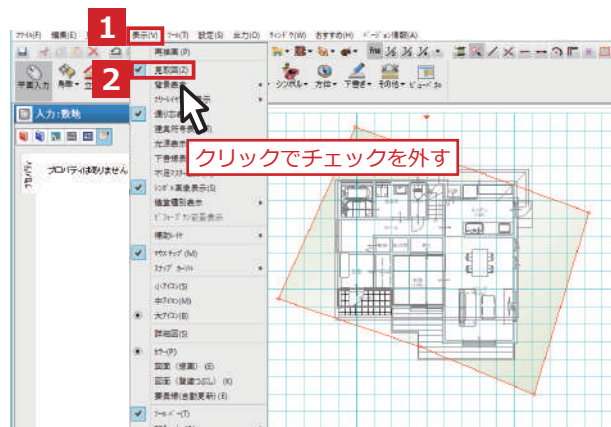


見取図の非表示

見取図をもとに敷地を入力し終えたら、見取図を非表示にすることができます。

1「表示」から2「見取図」のチェックを外します。

再度表示させたい場合は、チェックを入れると表示できます。

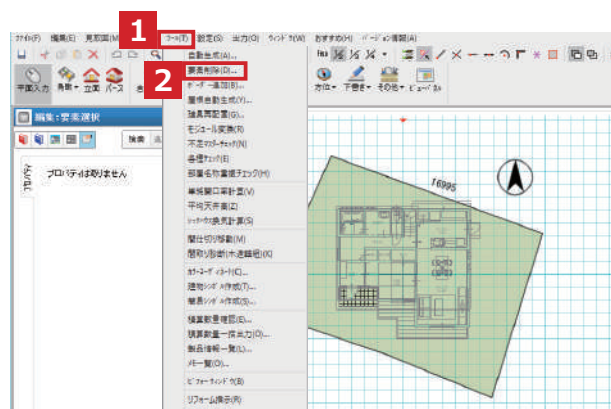


見取図の削除

見取図が不要な場合は、図面から削除することもできます。

1「ツール」から2「要素削除」をクリックします。

3「見取図」にチェックを入れ、4「OK」をクリックします。

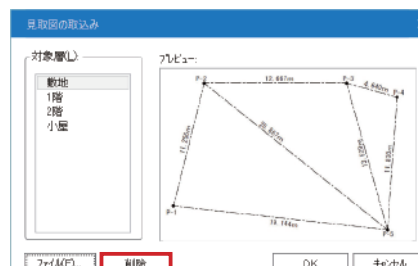
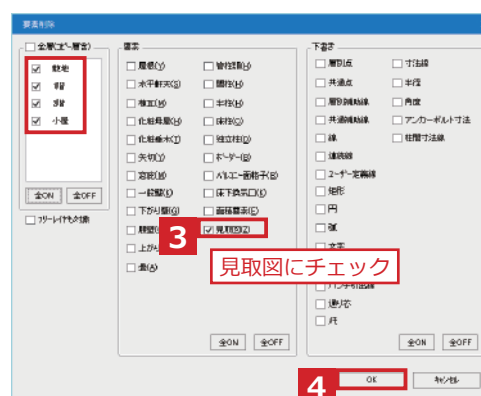


+ 補足

階層を指定して削除することもできるので、補助線や補助点を一括で削除するときなどにも便利な機能です。

+ 補足

見取図の取込み画面の「削除」ボタンを押すことでも削除ができます。



座標がある場合の敷地入力

座標敷地入力

座標求積図がある場合、「座標敷地入力」が可能です。

1「敷地」から2「座標敷地入力」をクリックします。

3「プロパティ」でX方向・Y方向の数値入力ができます。

⚠ 注意

座標を入力する前に、以下のことを確認しましょう。

・単位

座標表を見たとき小数点がある場合はメートル (m)、ない場合はミリ (mm) に設定します。

・方位の向き

北がX軸の場合は、「北がX軸（測量図）の場合」にチェックを入れます。

・数値

1点目と最終点と同じ数値になっている場合、最終点の入力は不要です。

+ 補足

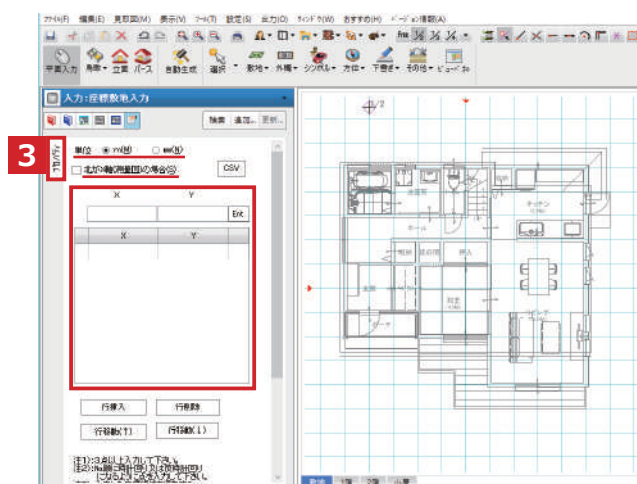
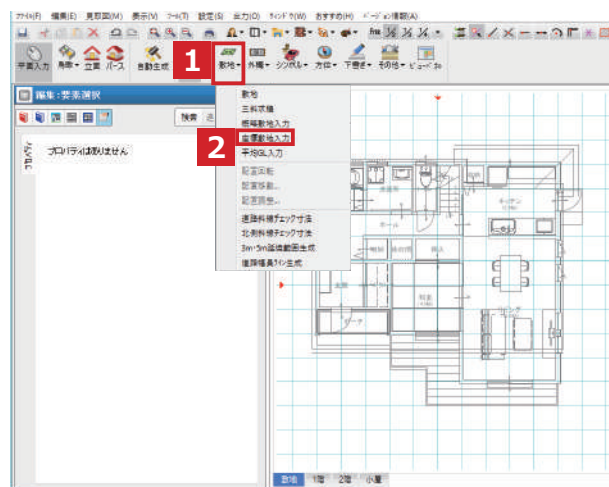
X/Yの数値を見たとき、頭の数字が同じものは省略できます。ただし、-（マイナス）は省略できません。

例) X

18200.000 → 0

18209.544 → 9.544

18217.356 → 17.356



入力ができたら、「Ent.」をクリックします。
これを繰り返します。

間違えた場合は、削除したい行をクリックし、
「行削除」をクリックします。

入力が終わると敷地の形が出てくるので、
建物がだいたい入るように **4** クリックで配置
します。

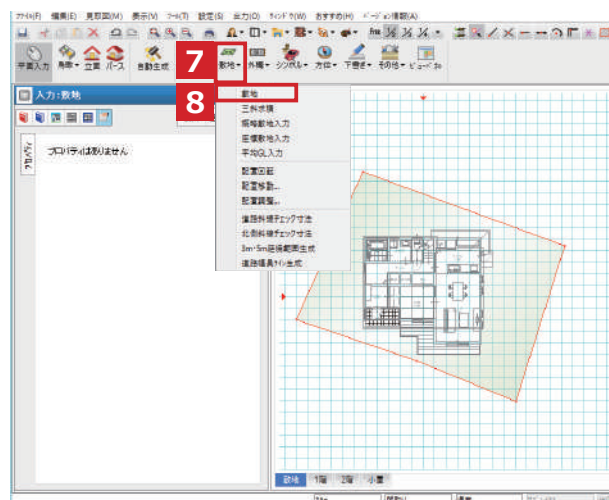
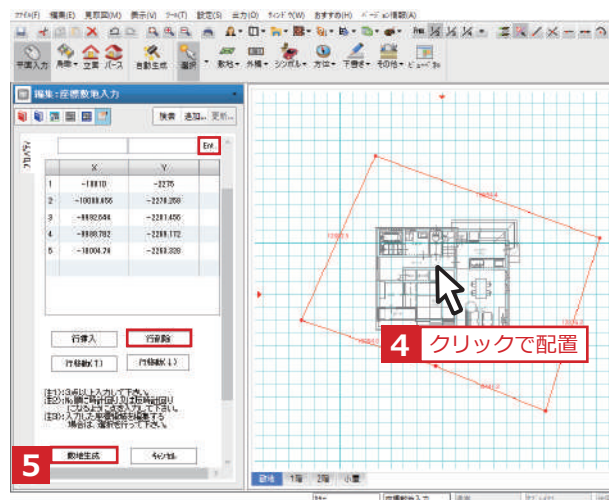
⚠ 注意

このとき、敷地の形が出ない場合は、

- ・単位が違ってないか
 - ・入力した数値が違ってないか
- もう一度確認してください。

配置後、**5**「敷地生成」をクリックします。
「敷地生成が正常に完了しました」が表示
されたら、**6**「OK」をクリックします。

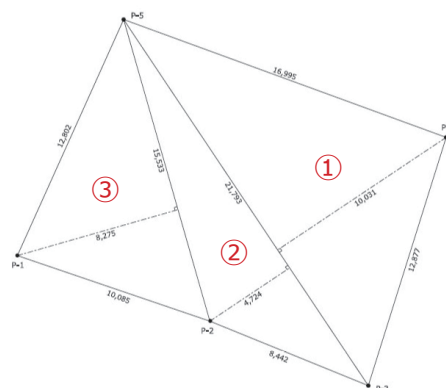
最後に、**7**「敷地」から**8**「敷地」を
クリックすると、敷地に色が付き入力が完了
します。



三斜求積図がある場合の入力

三斜求積

図のように敷地形状が三角形で構成されており、三角形の3辺の長さがわかっている場合、「三斜求積」での入力が可能です。



1「敷地」から2「三斜求積」を選択します。
①の三角形から生成していきます。

「三斜求積」の画面の

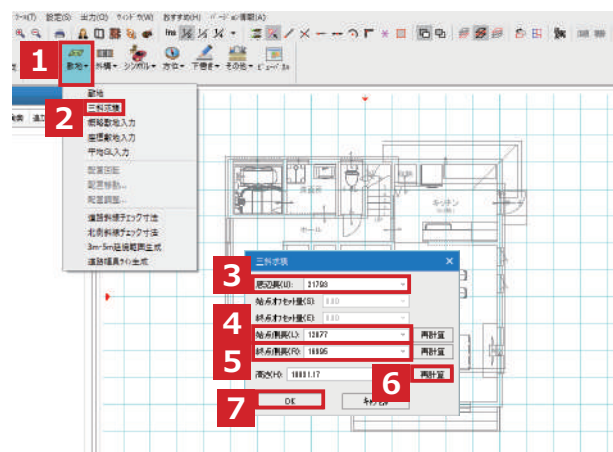
3「底辺長」：21793

4「始点測長」：12877

5「終点測長」：16995

6「再計算」して7「OK」をクリックします。

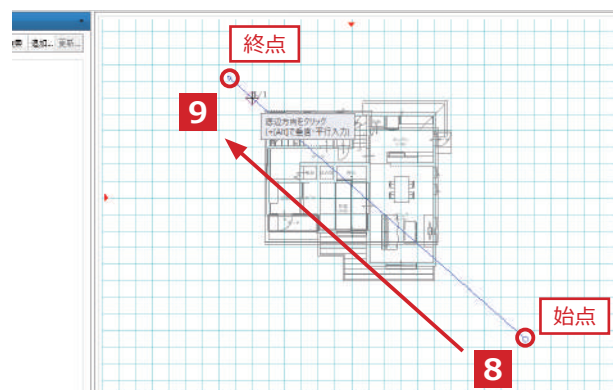
※単位はmmで入力します。



底辺を指示します。(8, 9)

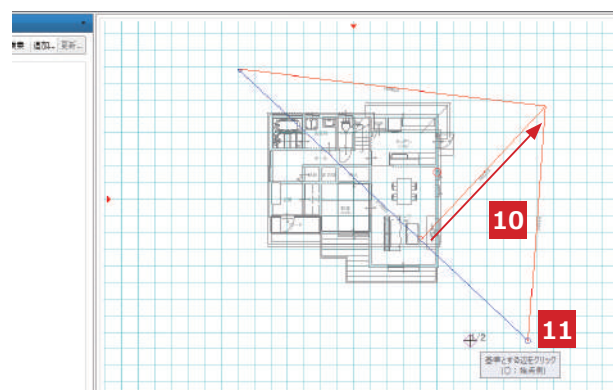
+ 補足

指示した底辺の○が始点、△が終点を意味します。

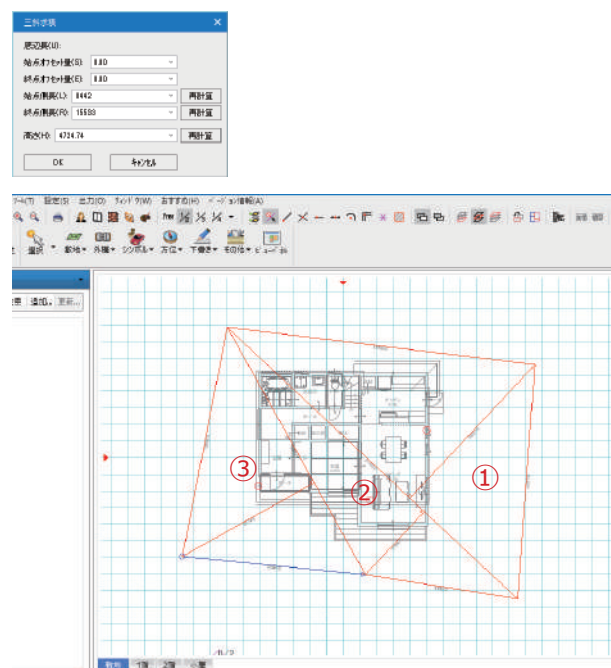


10方向にカーソルを向けてクリックすると
21.793mを底辺とした三角形が生成
されます。

11に青い○が付くように21.793m
の辺をクリックします。



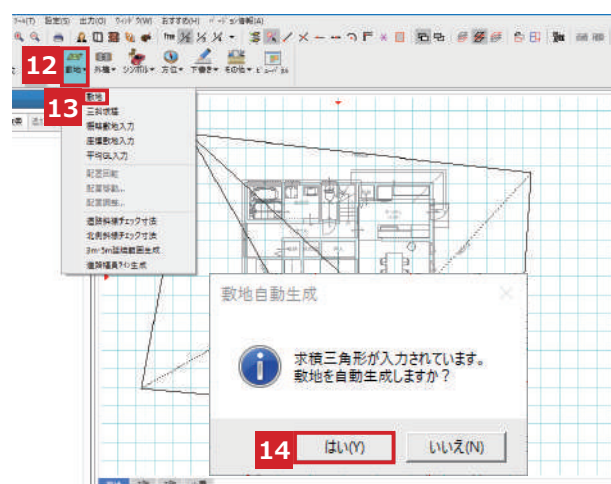
①と同様に数値を入力し、②・③の三角形も生成します。



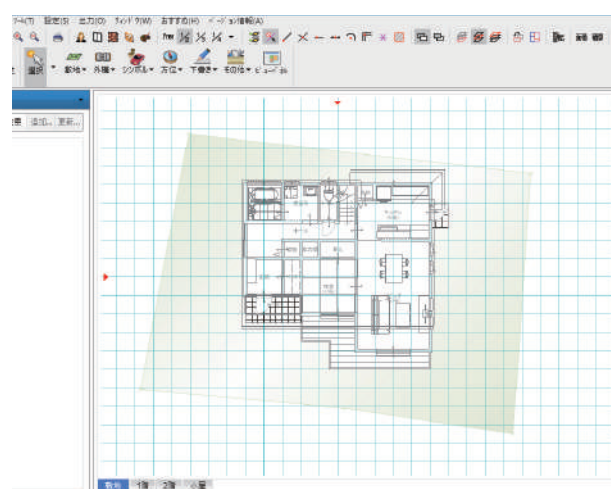
12「敷地」から13「敷地」を選択します。

敷地自動生成画面が表示されるので

14「はい」を選択します。



緑色の敷地が表示されれば敷地入力は完了です。



⚠ 注意

敷地が緑色に表示されない場合は、「三斜求積」以外の敷地情報が入力されている可能性があります。「概略敷地図」「座標敷地図」などの情報が残っていないか確認し、残っていれば削除してください。

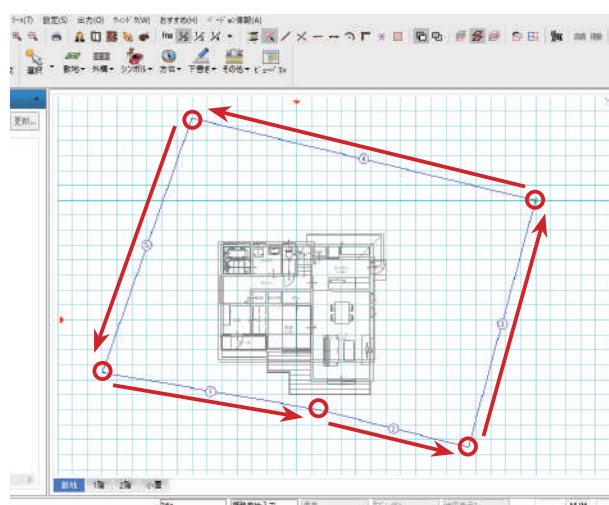
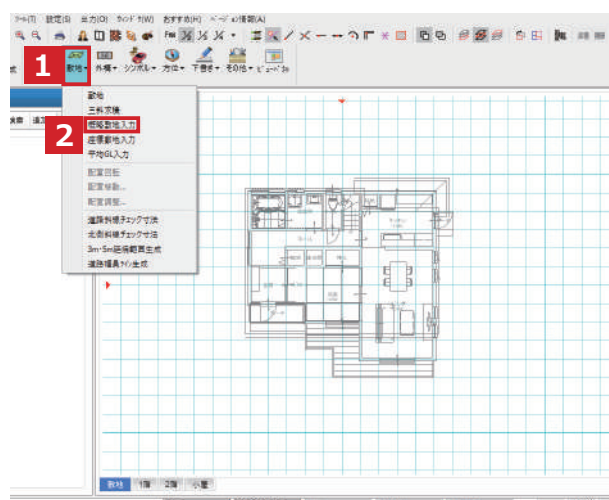
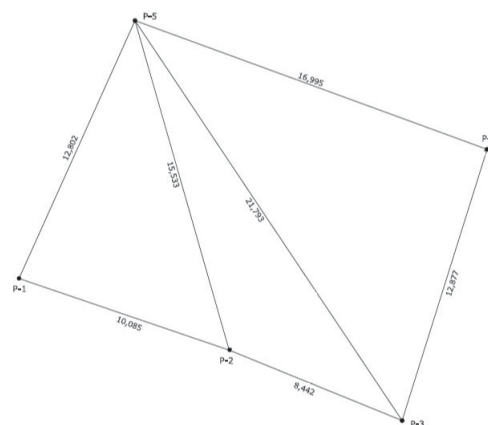
対角と外周の長さがある場合

概略敷地入力

敷地の各辺の長さや対角線の長さがわかっている場合に使用します。

1「敷地」から2「概略敷地入力」を選択します。

おおまかな敷地形状を入力します。



敷地形状内のすべての対角線を指示します。(3～6)

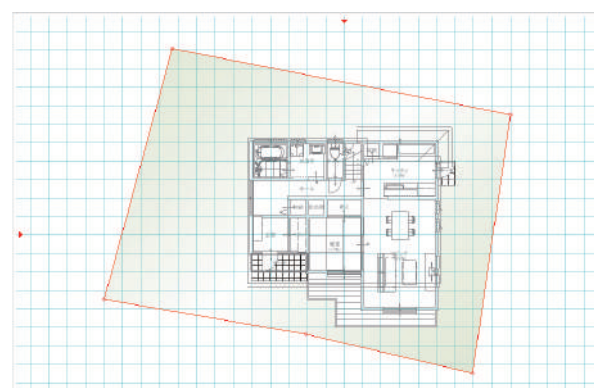
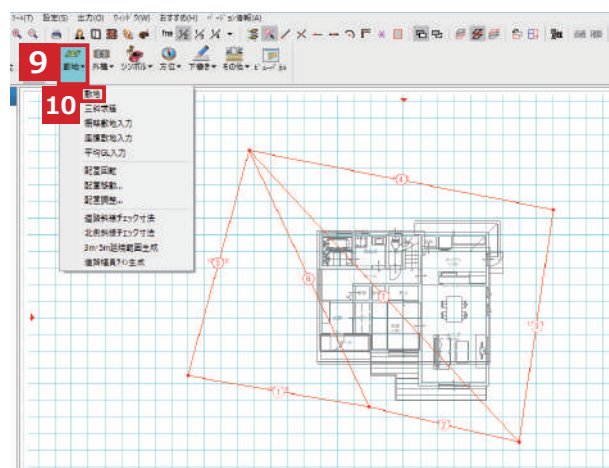
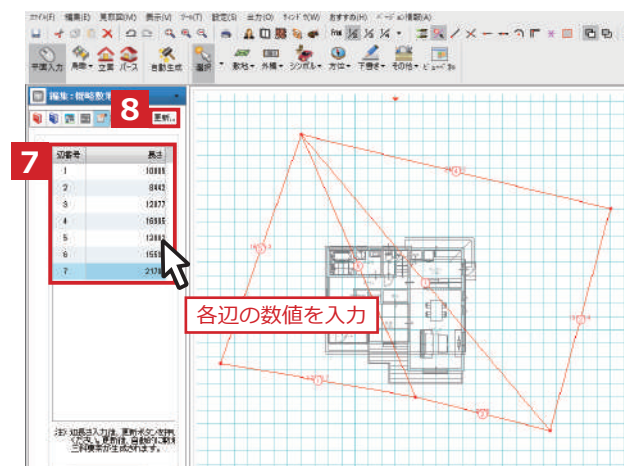
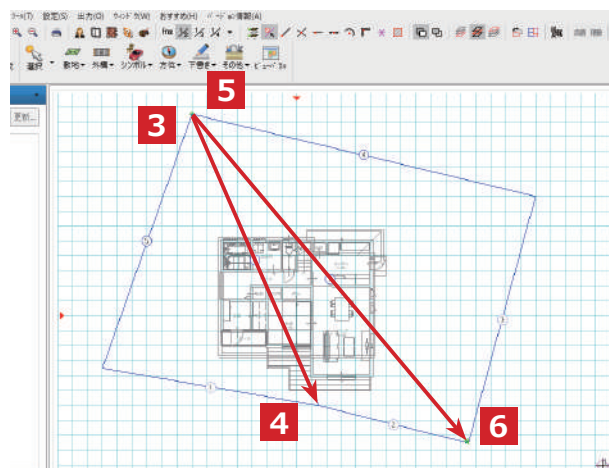
敷地形状が赤く確定され、プロパティ画面に
7 各辺と対角線の長が表示されます。

各辺番号にあった数値を入力し、
8「更新」します。

最後に9「敷地」から10「敷地」を選択
すると緑色の敷地が生成されます。

注意

数値を「更新」するだけでは敷地は生成されません。必ず「敷地」ボタンから「敷地」を選択し入力を完了してください。



敷地の配置変更

敷地の調整

入力した敷地を建物に合わせて配置します。

配置回転

敷地境界と建物を平行に合わせます。

- 1 「敷地」 から、2 「配置回転」 を選択します。
- 3 建物と平行にしたい敷地境界線をクリックし、4 平行にしたい建物の外壁の線をクリックします。

敷地が建物に合わせて回転し、寸法線が生成されます。

+ 補足

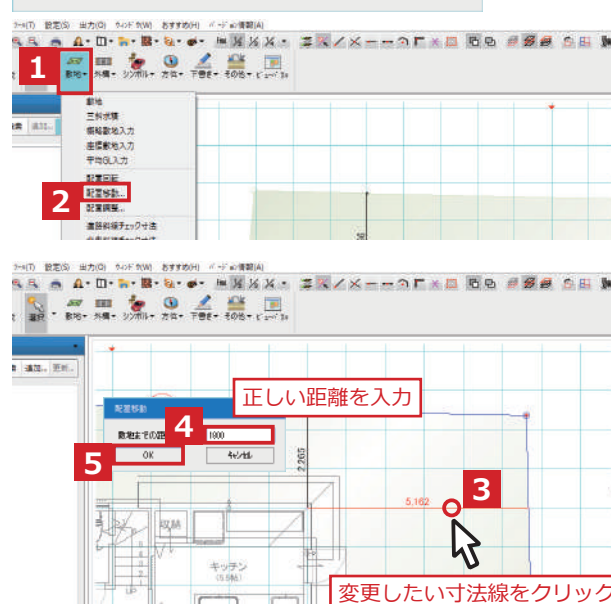
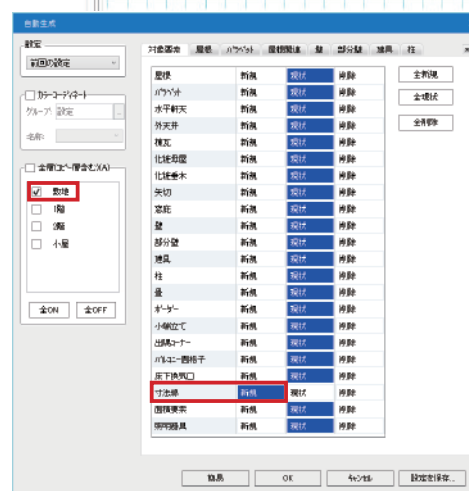
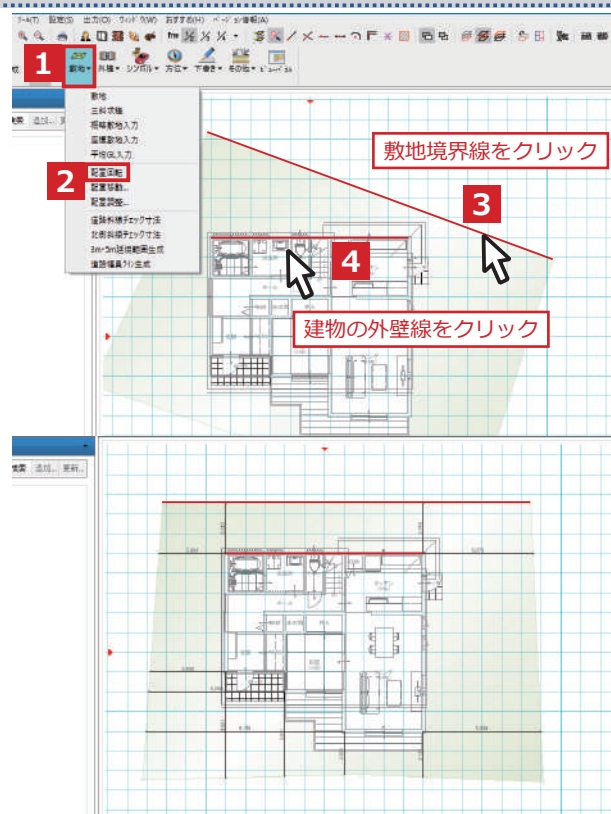
寸法線が生成されない場合は敷地の階層にのみチェックを入れ、「自動生成」から寸法線を生成してください。

配置移動

敷地境界線と建物の離れ距離を調整します。

- 1 「敷地」 から、2 「配置移動」 を選択します。
- 3 変更したい寸法線をクリックします。
- 4 正しい距離を入力し、5 「OK」 をクリックします。

複数箇所ある場合は続けて変更します。



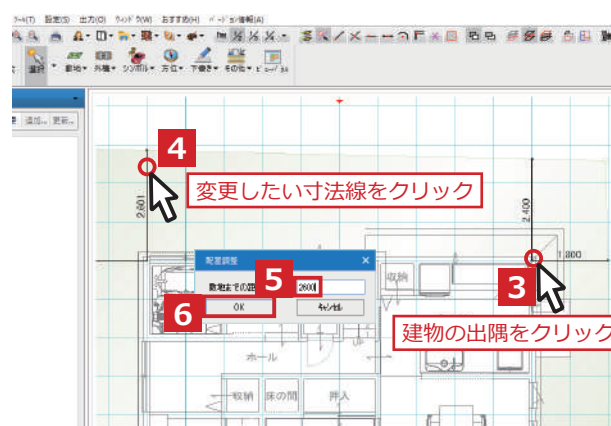
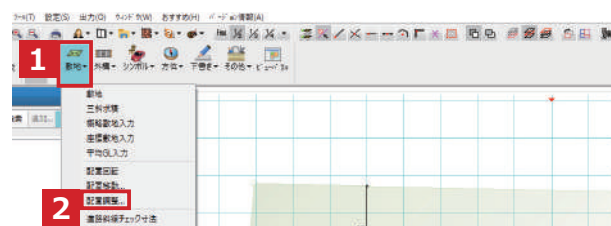
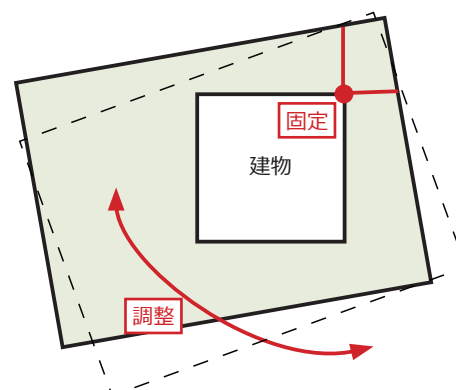
配置調整

建物と平行になる敷地境界線が無い場合、右図のように、前頁で離れ距離を合わせた箇所を固定して、別の箇所の離れ距離を調整できます。

1「敷地」から、2「配置調整」を選択します。

3寸法を固定する建物の出隅をクリックし、
4変更したい寸法線をクリックします。

5正しい距離を入力し、6「OK」をクリックします。



方位の入力

方位を入力します。

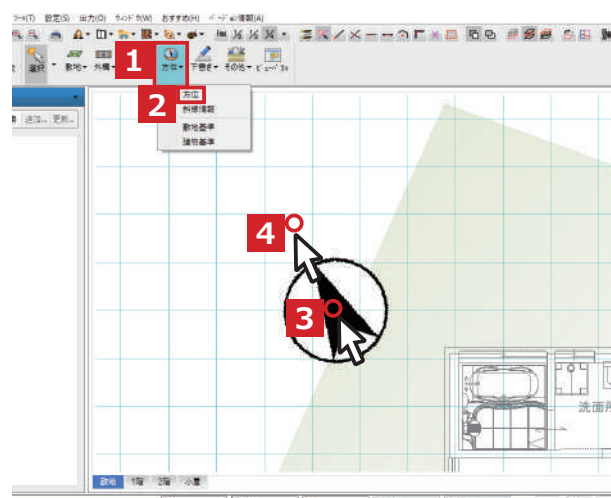
1「方位」から2「方位」を選択します。
3方位マークを表示する位置をクリックし、
4北方向に向けてクリックします。

+ 補足

敷地辺からの振れ角度、磁北を指定して入力することもできます。

! 注意

方位が入力されていない場合、入力画面の真上方向を真北とみなします。



外構図の入力

道路の入力

道路の入力は、斜線情報を元に自動生成する方法と手入力する方法があります。

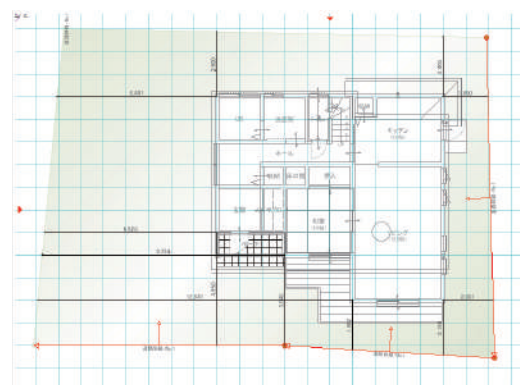
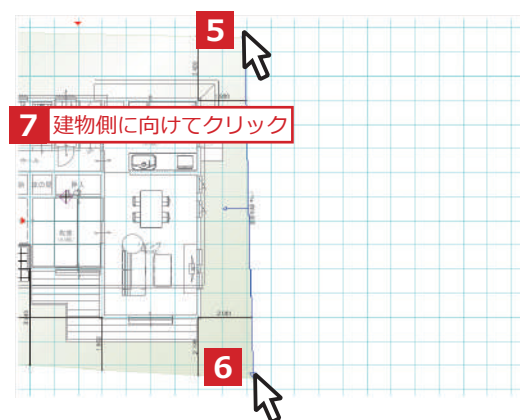
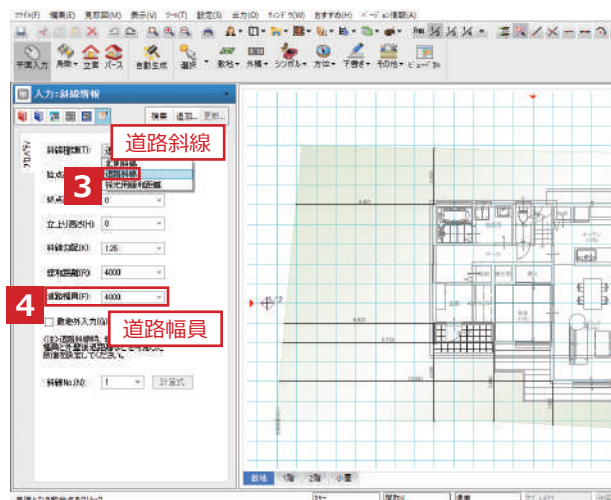
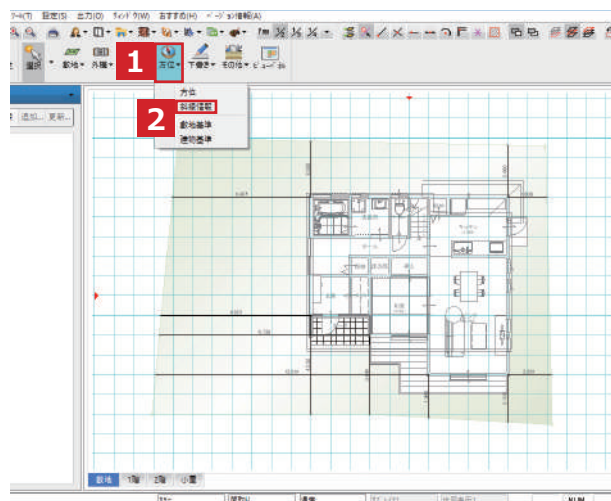
自動生成

1「方位」から2「斜線情報」を選択します。

プロパティの斜線種類から3「道路斜線」を選択し、4「道路幅員」に道路の幅を入力します。

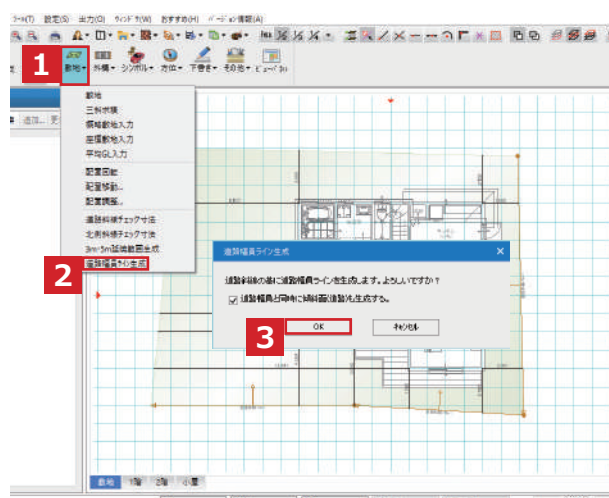
5 道路を作成したい敷地の辺上をクリックし
6 青い矢印がでくるので、作成したい敷地辺に合わせクリックします。
7 矢印を建物側に向けクリックします。

同様に、道路が必要な辺に全て入力していきます。

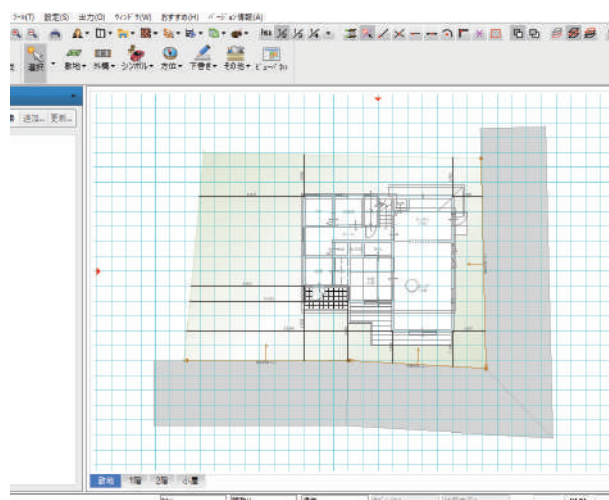


全て入力が終わったら、

1「敷地」から2「道路幅員ライン生成」を選択し、そのまま3「OK」をクリックします。



斜線情報を読み取って道路が入力されます。



+ 補足

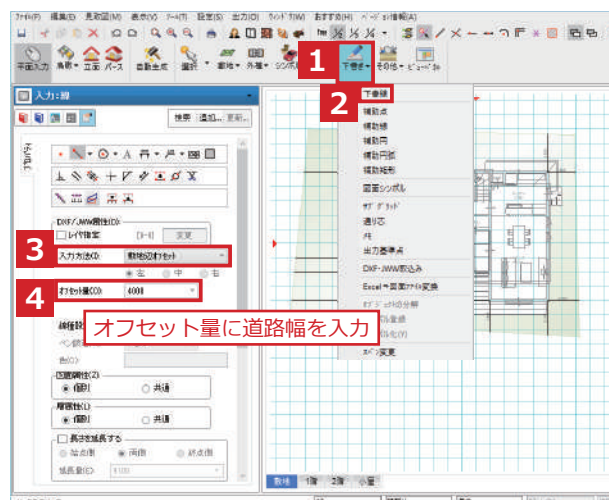
斜線情報を入力すれば、斜線の確認ができます。もし道路生成後斜線情報が必要なければ、削除しても問題ありません。

個別入力

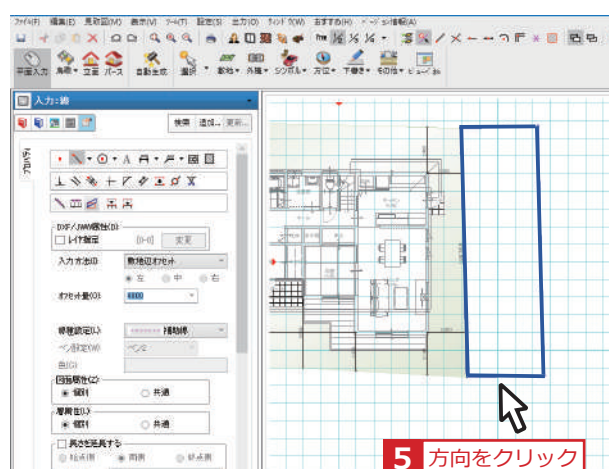
自動生成以外で道路を作成したい場合は、個別で入力することもできます。
道路を作成する前に補助線で道路の形を入力していくと、作業がしやすくなります。

1「下書き」から2「補助線」を選択します。

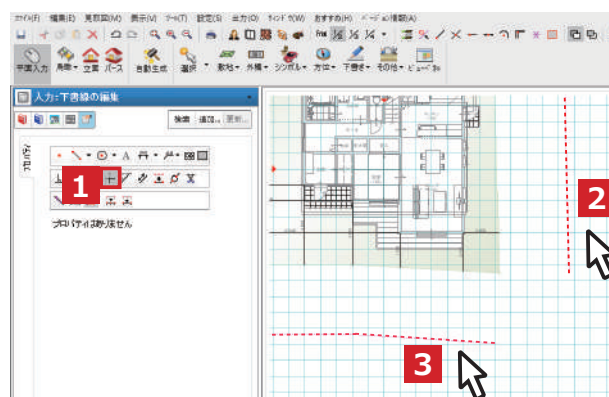
入力方法を3「敷地辺オフセット」に選択し、
4「オフセット量」に道路幅を入力します。



道路を入力したい敷地辺にマウスを近づけると、青い四角が出てくるため5外側を向けてクリックします。



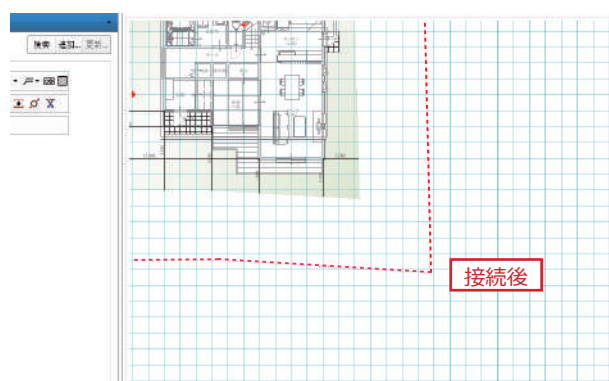
同様に、道路を入力したい辺に合わせクリックします。



+ 補足

補助線を入力した際、線と線が交わらない部分があります。

その場合は、下書きのプロパティ画面の1「コーナー +」を選択し、接続したい線と線をクリックします。(2, 3)



道路を入力していきます。

1「その他」から2「傾斜面」を選択します。

あらかじめ入力していた補助線で敷地の辺を
なぞっていきます。

1点目の前の点で、ダブルクリックすると入
力が完了します。

⚠ 注意

敷地はグリッド上にのらないことが多い
ため、「要素線」と「端点」
「交点」を押し込むと、入力しやす
くなります。

「要素線」：すべての要素を点や線と
みなします。

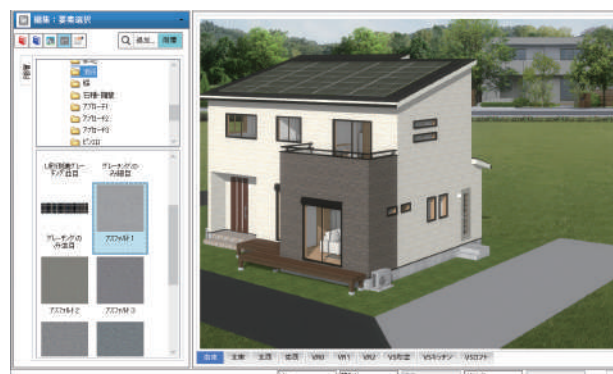
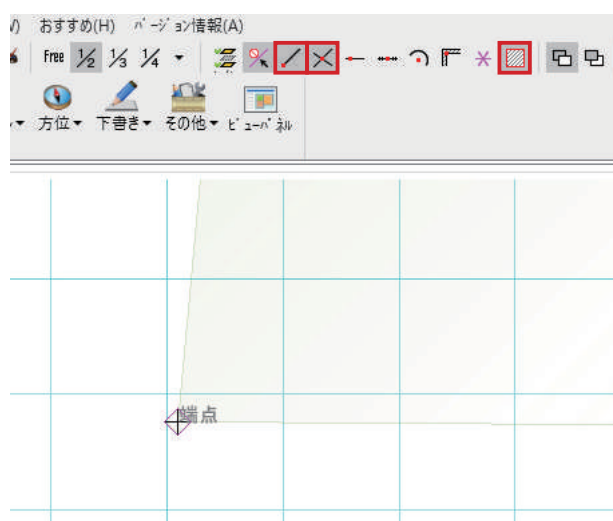
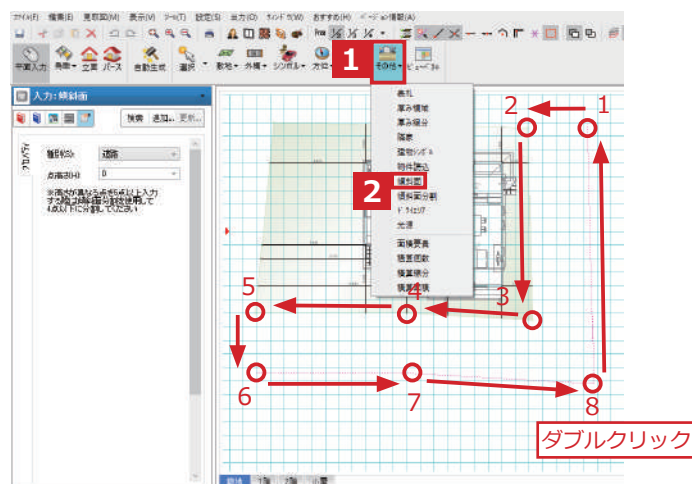
「端点」：線の端部にフィットします。

「交点」：線の交わった部分にフィット
します。

+ 補足

入力した傾斜面の色分けをする場合は、
「素材」から任意の素材を右ドラッグ
し、「個別変更」を選択します。

また、プロパティより傾斜面の種別を
合わせることで、種別ごとに色を変更
することもできます。



傾斜の設定

入力した道路（傾斜面）に傾斜をつけることができます。

！ 注意

入力している傾斜面で5点以上高さが異なる場合、パースでうまく表現できません。その場合は入力した傾斜面を4点以下に分割してください。

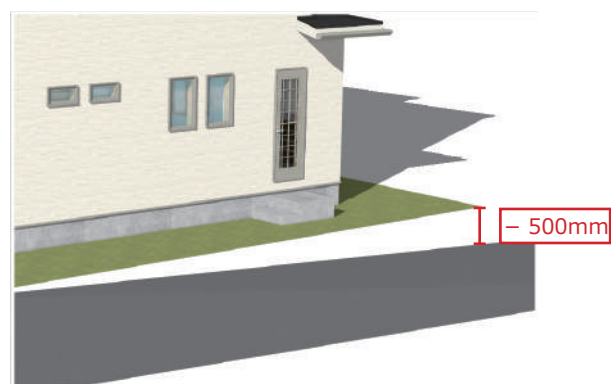
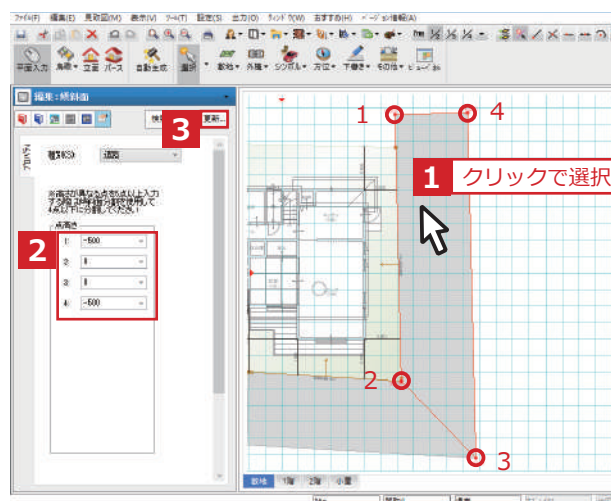
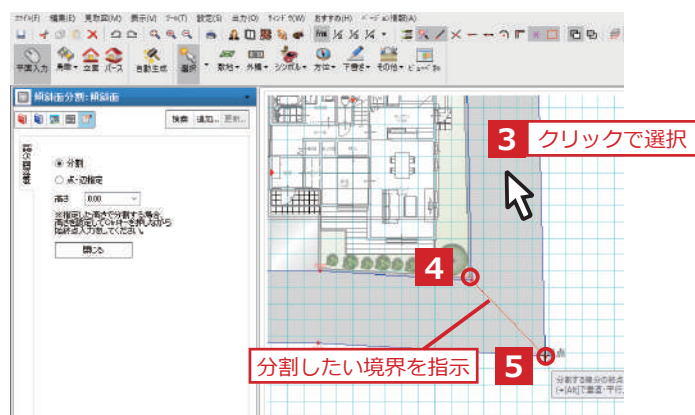
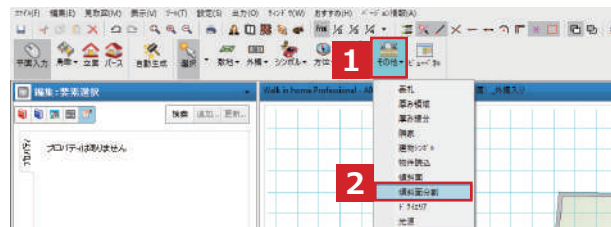
1「その他」から2「傾斜面分割」を選択します。3分割する傾斜面をクリックします。分割したい境界を指示します。（4.5）

傾斜の設定をします。

1入力されている傾斜面を選択すると、2プロパティ画面と傾斜面の角に番号が表示されます。
この番号ごとに高さを設定します。

点高さ	
1	- 5 0 0
2	0
3	0
4	- 5 0 0

数値を入力したら、3「更新」をクリック。パースで確認すると傾斜がかかっています。



塀の入力

敷地の境界線にある塀や法面等を塀で表現することができます。

1「外構」から2「塀 / フェンス」をクリックします。

プロパティ1の「タイプ」で

3「塀+フェンス」を選択します。

塀の高さ、フェンスの高さもそれぞれ設定できます。

設定後、敷地の辺に沿って入力。(4, 5)

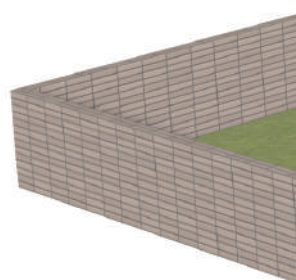
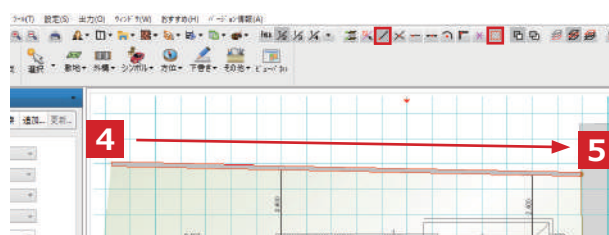
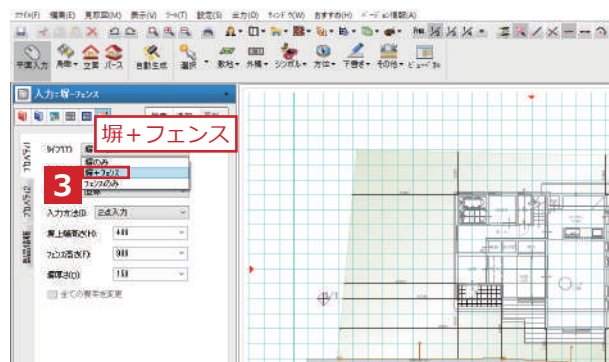
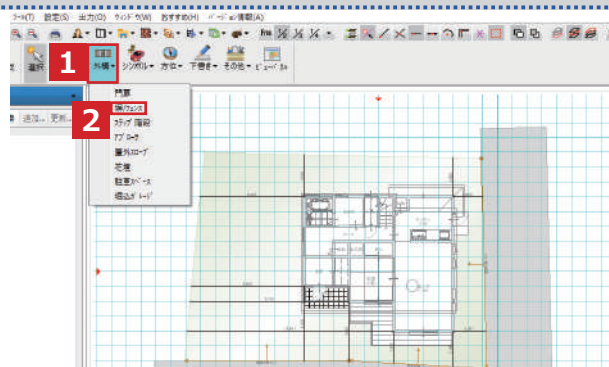
注意

「要素線」、「端点」を押し込むと、敷地の角を選択できます。

同様に他の境界線にも入力します。

パース画面で確認すると、塀とフェンスが立ち上がってきています。

プロパティ1のタイプで形状を変更することもできます。



【塀のみ】



【フェンスのみ】

傾斜面などで敷地との間に高低差ができた場合、塀を入力することで隙間を埋めることができます。

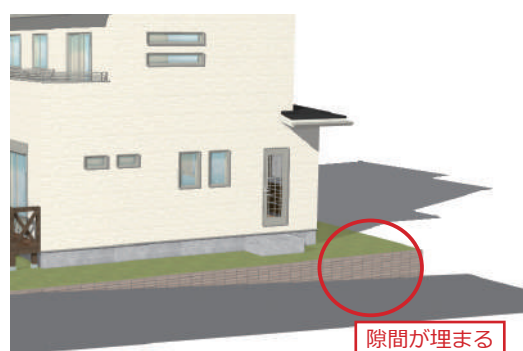
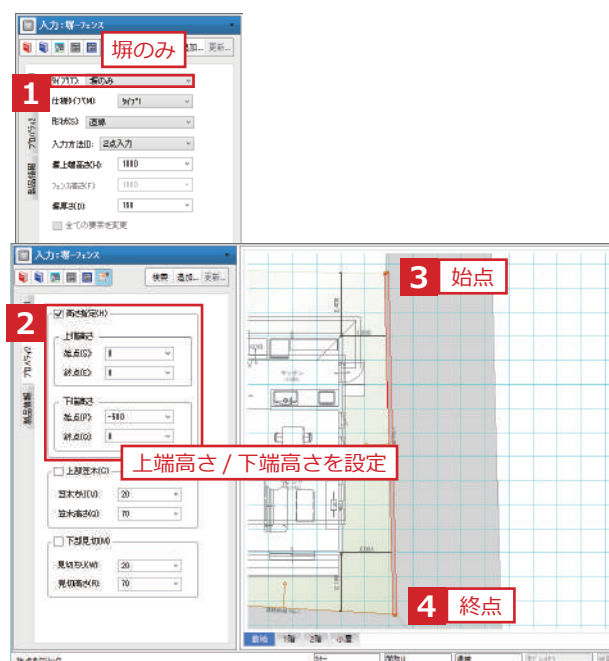
プロパティ 1 の 1「タイプ」を「塀のみ」にします。

プロパティ 2 の 2「高さ指定」にチェックを入れ、上端高さとして下端高さをそれぞれ設定します。

高低差がある境界の部分に入力します。

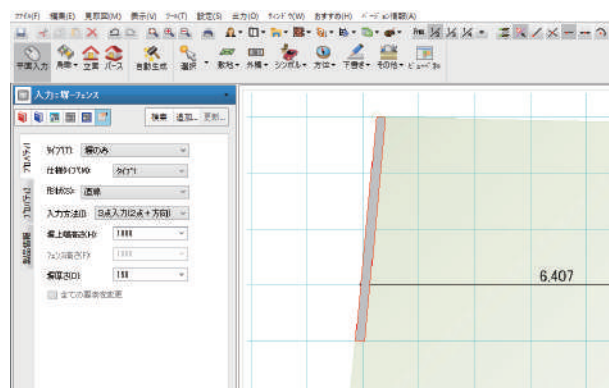
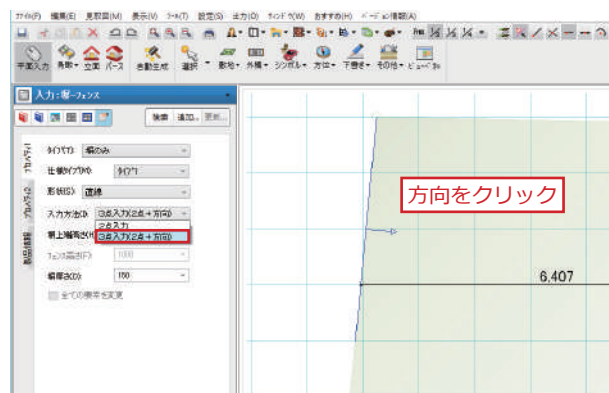
この時、1 点目にクリックした点が 3 始点、2 点目が 4 終点になります。

パースで確認すると高低差が埋まっています。



+ 補足

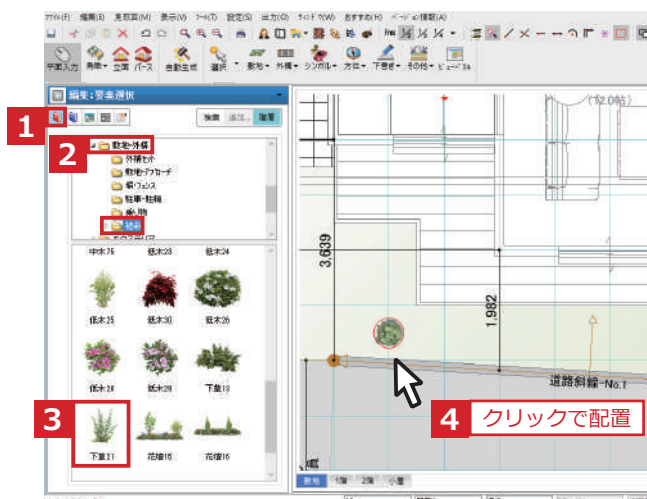
プロパティ 1 の「入力方法」を「3 点入力 (2 点+方向)」にすることで、指定した方向に塀の厚みを出すことができます。



植栽の入力

植栽を配置することで、外観パースの見栄えを効果的に表現できます。

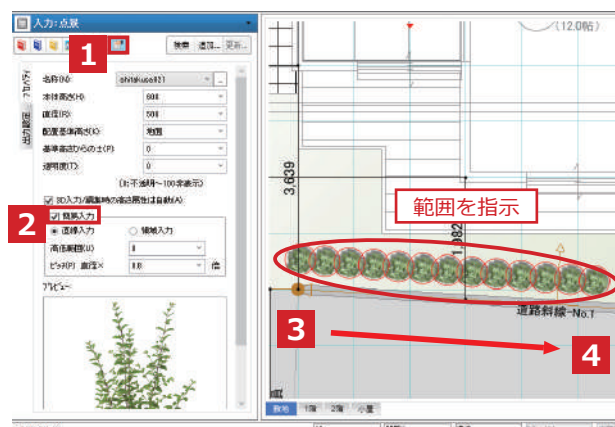
1「基本辞書」の2「敷地・外構」の「植栽」から3「下草 21」を選択し、4 任意の場所で配置します。



+ 補足

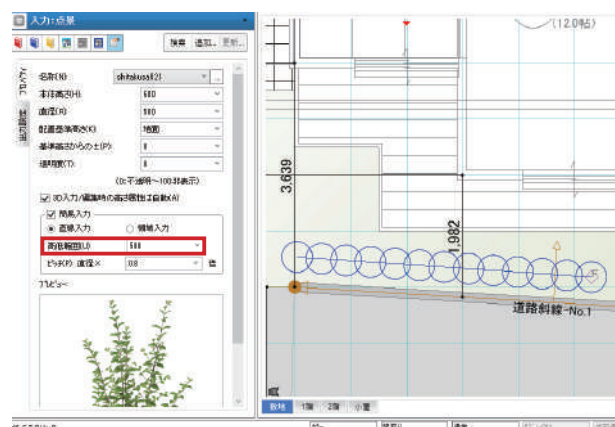
入力時に以下設定をすることで指示した範囲に配置ができます。「下草 21」を選択して、1「プロパティ」をクリックします。2「簡易入力」にチェックし、範囲を指示（3, 4）します。

- ・直線入力：線上に植栽を配置します。
- ・範囲入力：四角で囲んだ範囲に配置します。

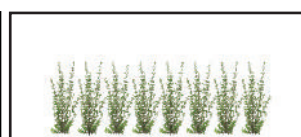


+ 補足

「高低範囲」に数値をいれると、それぞれの植栽に高低差を付けて入力ができます。



【高低差あり】



【高低差なし】